

区長所信表明(項目)

- 1 はじめに
- 2 まちづくりについて
- 3 健康づくりと次世代の育成について
- 4 友好都市提携について
- 5 補正予算について



一般質問

6月10日の本会議において、区長・教育長に対し、各会派の代表6名による一般質問が行われました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



じつかわ としたか 実川 利隆 (台東区議会自由民主党)

確固たる歴史観とまちづくりについて

問 区の重要な舵取りを担う区長は、確固たる歴史観を持ち、事にあたるのが何より重要である。江戸から明治の転換期に中心舞台となった歴史を持つ本区において、江戸の街や庶民の暮らし、文化や価値観、教育制度などの歴史に何を学び、どのようにそれらを生かしたまちづくりをしようとしているのか、区長のまちづくりの背骨ともいえるべき歴史観を伺う。また、教育基本法が改正され、「伝統と文化を尊重し、それらを育んできたわが国の郷土を愛する態度を養う」との目標も定められたが、人づくりにあたっての根幹をなす歴史観についても併せて伺う。

答 本区は、江戸以来の歴史と伝統のもとに、下町庶民の文化と新しい文化が出会い、個性豊かな文化を育んできたまちです。現在もまちの中には、その伝統が脈々と受け継がれています。私には、このすばらしい伝統を未来に引き継いでいく使命があります。今後も折に触れ、先人の知恵を学び、下町の温かな心のふれあいなど、これまで引き継がれてきた伝統や文化の精神を大切にすまちづくりを進めていきたいと考えます。また、教育基本法が改正され、より一層、道徳心や自律心、公共の精神、郷土を愛する心などを重視することが求められています。今あらためて、子どもたちの自律性が尊重された実用本位の江戸時代の教育や子育てに学び、人づくりを行っていくことが重要と考えます。

台東区の国際観光競争力の向上と商業の活性化について

問 中国の銀聯カードは、中国人が海外で買い物をするための必需品となっている。既に区内の大型商業施設ではカードが使えるが、小売店舗などでは、どのような状況にあるのか伺う。また、どのようにお金を使ってもらおうかという角度からの戦略が「産業施策」の中に必要と考えるが、区長の考えと、具体的な方策を伺う。

答 既に一部の百貨店でカードの決済サービスが導入され、浅草仲見世商店街の42店舗でも使用可能となっています。区としても、国際観光都市としての魅力を一層高めるため、外国人観光客の買い物の利便性向上を図るなど、更なる集客

アップを目指します。今後も、建替え後の浅草文化観光センターに両替所を誘致するとともに、商店街の皆様と、商業の活性化につながる方策について、協議しながら検討していきます。

谷中地域の都市計画道路見直しについて

問 谷中地区は、歴史・文化的資源が多数残され、昔ながらの街並みを残す一方、災害に対する危険性が高い地域である。平成16年に都が示した「区部における都市計画道路の整備方針」では、まちづくりと整合のとれた見直しを検討するとしているが、地域の方々がまちづくりに大きな関心を抱く今こそ、都と連携し、都市計画道路の見直しについて積極的に検討を進めるべきと考えるがどうか。

答 環状3号線を含む5路線が都市計画どおりに拡幅されれば、伝統的な街並み等の維持、保全は難しいものと考えます。都の「区部における都市計画道路の整備方針」では、谷中地区の都市計画道路が見直し候補路線に選定され、台東区、文京区、荒川区、東京都による検討会が5月に設置されました。安全な歩行者空間の確保、歴史・文化資源の活用、防災性の向上等、様々な視点から検討し、密集住宅市街地整備促進事業等と整合の取れた計画案の策定に向け、都と連携して取り組みます。

台東区の教育の充実と新教育課程について

問 教員の確保については、団塊世代の大量退職で、大勢の新規採用が予定されているが、他府県への流出も含め、小学校の選考倍率は2倍を切っているという情報もある。一般的に選考倍率が6倍を切ると十分な人材が確保できないと指摘されている。そこで次の2点を教育長に伺う。①台東区独自の教員採用等、優秀な教員を確保するための具体的方策はどうか②現在の教員の育成はどうか。

答 ①教育の充実には、教育を担う教員の資質が重要です。優秀な人材に台東区への異動を希望してもらえるように教育環境を一層充実させるなど、本区の教育を魅力あるものにしながら、人材確保に努めます。現行施策の改善や取り組みの充実等を図ると共に、区独自教員の採用についても、現在検討しています。②初任者研修や2、3年次研修等に加え、授業力の向上を目的とした研修や研究員制度をスタートし、教員の更なる資質の向上に努めています。また、校内研究や自主グループ研究を勧めるとともに、教員教育制度研修や優秀な教員を顕彰する奨励制度によって、意欲的・積極的な自己啓発に努めています。さらに教育課題研究委員会において、教師の実態に合わせたOJTのあり方等について改めて検討していきます。

タスポ導入による対応について

問 ①都内では7月より自動販売機でのたばこ購入にタスポが必要となる。自動販売機による売上げが大きなたばこ店を守り、たばこ税の税収を確保するためには、タスポの更なる普及が重要と考えるが、どのようにタスポの普及に協力していくのか。②タスポの導入に伴い、たばこ販売店の売上減少が予想されるが、そうした販売店に対し、経営支援を行うべきと考えるがどうか。

答 ①未成年者の喫煙防止対策の一環として、自動販売機でたばこを購入するためには、成人識別カード、通称「タスポカード」が必要となります。先行実施した九州地区や東北地区などでは、タスポカードの普及率が伸びず、たばこ販売店の売上げが減少していると聞いています。このため、広報たいとうやホームページへの掲載、区施設へのポスターの掲示等、台東区たばこ販売者協議会やJTBが実施するタスポカードの普及促進活動に全面的に協力してきました。今後も普及促進活動への支援の取り組みをさらに強化していきます。②売上の減少等が生じている事業経営者に対して、経営相談や融資制度等を活用し、積極的に対応していきます。



みずしま みちのり 水島 道徳 (台東区議会区民クラブ)

駐輪場対策について

問 隅田公園自転車駐車場では、収容しきれない多くの自転車が、地下ギャラリー広場にまで置かれている状況である。公園内の通路や、隣接する道路上に、自転車駐車場を設置し、隅田公園自転車駐車場における自転車の飽和状態を解消すべきと考えるがどうか。

答 議員ご指摘のとおり、隅田公園自転車駐車場は飽和状態にあり、これまでも、水上バス乗り場付近に自転車置場を設置したり、地下ギャラリーの広場を一時的に使用してきました。また、つくばエクスプレス浅草駅の自転車駐車場の利用をご案内してきました。しかしながら、自転車利用者は多く、現在もその解消には至っていません。大変厳しい状況ですが、今後とも新たな駐輪スペースを見出す努力を続けるなど、さまざまな視点から、改善に向けて検討していきます。



すぎやま まさよし 杉山 全良 (台東区議会公明党)

新たな高齢者支援について

問 年金、医療など高齢者を取り巻く環境は厳しい状況になっている。高齢者が台東区に住んでいてよかったと実感できる新たな施策が必要と考えるがどうか。次の2点を区長に伺う。①後期高齢者医療制度では、

従来、国民健康保険で行っていた「人間ドック」費用の助成がなくなり全額自己負担となった。区の施策として助成を行うべきと考えるがどうか。②高齢者所帯にとってテレビは重要な情報源であるが、国は「デジタル化に伴う費用は個人負担が原則」としており、テレビを観られない高齢者が増え、情報格差が懸念される。経済的弱者である高齢者所帯にチューナー等購入費の助成を行うべきと考えるがどうか。

答 ①人間ドック費用の助成は、区民の健康維持増進を第一に考え、総合健康診査の補完的役割を併せ持つ事業として、実施に向け検討します。また、庁内に設置した「長寿医療制度対策会議」において、その他の必要な取り組みについても検討します。②国では2011年7月のテレビ放送の完全デ